

(5) 職 員 4名

事務局長	1名 (常務理事兼務)
係長	1名
主事	2名
臨時事務員	1名

7 理事会

理事会は、業務決定機関として、次のとおり開催した。

第回	期 日	概 要
1	5月24日	1 福祉サービス第三者評価の結果について (報告事項) 2 平成29年度事業報告および決算報告 3 評議員候補者の選任 4 平成30年度第1回評議員会の招集について 5 理事長の職務執行状況の報告について 6 常務理事の職務執行状況の報告について (出席者 理事5名 監事3名)
2	8月20日	1 理事候補者の選任 (決議省略) 2 平成30年度第2回評議員会の招集について (決議省略) (同意者 理事6名 監事3名)
3	2月21日	1 青梅市しろまえ児童学園の廃止について (報告事項) 2 職員給与規程の一部を改正する規程 3 平成30年度資金収支補正予算 4 定款の変更 5 平成30年度第3回評議員会の招集について (出席者 理事6名 監事3名)
4	3月28日	1 就業規則の一部を改正する規則 2 事案専決規程の一部を改正する規程 3 文書管理規程の一部を改正する規程 4 経理規程の一部を改正する規程 5 組織および事務分掌規程の一部を改正する規程 6 職員給与規程の一部を改正する規程 7 職員退職手当支給規程の一部を改正する規程 8 しろまえ児童学園運営規程の廃止 9 特定相談支援事業および障害児相談支援事業運営規程の一部を改正する規程 10 第4期中期計画 11 理事候補者の選任 12 監事候補者の選任 13 第三者委員の選任 14 平成31年度事業計画および資金収支当初予算 15 平成30年度第4回評議員会の招集について 16 理事長の職務執行状況の報告 17 常務理事の職務執行状況の報告 (出席者 理事5名 監事3名)

5	3月28日	1 評議員選任・解任委員の選任（決議省略） （同意者 理事6名 監事3名）
---	-------	--

8 評議員会

評議員会は、重要な業務決定事項の諮問機関として、次のとおり開催した。

第回	期 日	概 要
1	6月21日	1 評議員の選任について（報告事項） 2 福祉サービス第三者評価の結果について（報告事項） 3 平成29年度事業報告および決算報告 （出席者 評議員5名）
2	8月27日	1 理事の選任（決議省略） （同意者 評議員7名）
3	2月21日	1 青梅市しろまえ児童学園の廃止について（報告事項） 2 平成30年度資金収支補正予算 3 定款の変更 （出席者 評議員5名）
4	3月28日	1 理事の選任 2 監事の選任 3 平成31年度事業計画および資金収支当初予算 （出席者 評議員5名）

9 連絡・調整

各事業所および青梅市との連携を緊密にし、事業計画、予算・経理・決算、事業報告、人事その他運営一般に関する事項等、理事会の方針の周知徹底を図った。

10 監査会

第回	期 日	概 要
1	5月17日	平成29年度に関して、理事の業務執行の状況および事業団の財産の状況について「監事監査重点5項目指針」に従って監査を実施した。 （出席者 監事3名）

11 評議員選任・解任委員会

第回	期 日	概 要
1	5月31日	1 委員長の選出 2 評議員の選任 （出席者 委員3名）

12 中期計画

当事業団は、事業団単独で達成できる可能性のある計画を中心に中期計画を策定し、指針および目標年度を示すことにより、職員一同一致協力して業務を遂行し、もって利用者に対する支援の充実と安全の確保を図った。

また、現行計画については、平成30年度が最終年度となるため、平成31年度

から5か年間に及ぶ新たな中期計画を年度内に策定した。

(1) 期 間 平成26年度から平成30年度まで(5か年間)

(2) 内 容(平成30年度)

ア 事業関係

(ア) 本部

特定・障害児相談支援事業所「じりつ」において、今年度は計画相談を128件、継続支援(モニタリング)は89件実施した。

(イ) 青梅市自立センター

就労移行支援事業の利用者については、どの班にも所属することができ、所外等での活動の機会を得た。

(ウ) 青梅市しろまえ児童学園

昨年度までは今後の展開についての研究を進めていたが、今年度末をもって廃園となるため、園児に対して全力で指導を行った。

イ 利用者関係

(ア) 青梅市自立センター

a 行事

就労支援事業所における日帰り旅行については、参加人数等を勘案し、バスを1台増車して実施した。

b 送迎サービス

業者委託によるバス4台と、職員による小型リフト車2台で対応した。

c 給食サービス

安心・安全については厨房給食会議の主要テーマとして検討した。食中毒等の事故を起こすことなく安全に提供できた。

d 家族の参画

第三者評価については、3年に1回受審しているところであり、今年度の受審はなかった。なお、来年度受審の予定である。

e 満足度調査の実施

第三者評価の受審年でなかったことから、これに代わり実施した結果、一定の評価を得る事が出来た。

(イ) 青梅市しろまえ児童学園

a 行事

過去の実績に基づき実施をし、都度会議等を活用して検証をした。

b 送迎サービス

園児の入退所により送迎コースが異なるため、都度検討して対応した。

c 給食サービス

アレルギー除去食の食事をお願いした。

d 家族の参画

8月までの行事について、保護者の参加と協力をもとに実施した。参加のあり方については、職員会議で検討した。

e 満足度調査の実施

8月末をもって通園児が退園し、9月末をもって施設が休園となったため実施はしなかった。

f 活動内容の検討

今年度は通園児1名であったため、そこに合わせた指導や計画を立てた。

ウ 職員関係

(ア) 本部・青梅市自立センター・青梅市しろまえ児童学園

a 年度目標の設定と自己評価

年度重点目標を設定したほか、職務状況の確認や意見交換など、職員士気の向上やスキルアップに向けた意識改革に努めた。

(イ) 青梅市自立センター

a 職員間における職務分掌の明確化

主な仕事の役割分担を職員に示し、職務分掌の徹底を図った。

b パソコンの効率的な使用

青梅市社会福祉事業団のホームページを活用し、情報発信に努めた。併せてパソコンの更新および携帯電話メールへの配信も行った。

c 委員会の設置

今年度は次年度からの中期計画に向け「中期計画検討委員会」を設置し、検討を行った。

d 医療的ケア

指導医および看護師を講師に、4名の支援員等が吸引技術研修を受講し継続した技術確認の場を設けた。

(ウ) 青梅市しろまえ児童学園

a マニュアルの策定

作成したマニュアルを活用し、より良い児童支援に結び付けた。

b 各種様式の整備

見やすさや書きやすさなど、更に活用しやすいように見直しを行った。

13 事業団職員数および職員配置

職員 65名

職員配置 別表第2のとおり

別表第1-1

役員および評議員名簿

平成31年3月31日現在

	フリガナ氏名	就任年月日	任期	職業等
理事長	シモダ ナカヒサ 下田 掌久	平成26年4月1日	自平成29年6月21日 至平成31年度 定時評議員会終結時	元青梅市副市長
副理事長	ハンモト マサユキ 橋本 雅幸	平成28年4月1日	自平成29年6月21日 至平成31年度 定時評議員会終結時	青梅市健康福祉部長
常務理事	マツオカ トシオ 松岡 俊夫	平成27年4月1日	自平成29年6月21日 至平成31年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会福祉事業団事務局長

理事	カネコ ノリヨシ 金子典由	平成30年8月27日	自 平成30年8月27日 至 平成31年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉協議会会長
理事	スズキ ヌウコ 鈴木 勇子	平成29年6月21日	自 平成29年6月21日 至 平成31年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人南風会 青梅学園地域支援部部长
理事	アライ ナホコ 新井 奈穂子	平成28年5月27日	自 平成29年6月21日 至 平成31年度 定時評議員会終結時	青梅市自立センター 家族会会長
監事	ウツキ ヒロノブ 宇津木 博 宣	平成30年4月1日	自 平成30年6月21日 至 平成31年度 定時評議員会終結時	青梅市会計管理者
監事	ツネヤマ タダオ 常山 忠 夫	平成27年4月1日	自 平成29年6月21日 至 平成31年度 定時評議員会終結時	税理士
監事	サンダ オサム 指田 修	平成29年4月1日	自 平成29年6月21日 至 平成31年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団元役員
評議員	ノムラ マイク 野村 真行	平成27年4月1日	自 平成29年4月1日 至 平成33年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人東京武尊会 九十九園施設長
評議員	モトハシ ケンイチ 本橋 憲一	平成29年2月24日	自 平成29年4月1日 至 平成33年度 定時評議員会終結時	青梅市民生児童委員合同 協議会理事
評議員	キムラ アキオ 木村 秋雄	平成30年5月31日	自 平成30年5月31日 至 平成33年度 定時評議員会終結時	青梅市自治会第11支会 支会長
評議員	カゲヤマ マサカズ 影山 正和	平成23年4月1日	自 平成29年4月1日 至 平成33年度 定時評議員会終結時	今井五丁目自治会会長
評議員	コジマ チエミ 小島 千枝美	平成30年5月31日	自 平成30年5月31日 至 平成33年度 定時評議員会終結時	青梅市自立センター 家族会副会長
評議員	オネ キヨミ 尾根 清美	平成29年6月2日	自 平成29年6月2日 至 平成33年度 定時評議員会終結時	青梅市自立センター 家族会副会長
評議員	モテギ タダシ 茂木 正	平成30年4月1日	自 平成30年4月1日 至 平成33年度 定時評議員会終結時	青梅市 障がい、被害者福祉課長

別表第1-2

評議員選任・解任委員名簿

平成31年3月31日現在

	フリガナ 氏名	就任年月日	任期	職業等
評議員選任・ 解任委員	ウツキ ヒロノブ 宇津木 博 宣	平成30年4月1日	自 平成30年4月1日 至 平成32年度 定時評議員会終結時	青梅市会計管理者
評議員選任・ 解任委員	タカノ トシミ 高野 敏 巳	平成29年2月24日	自 平成29年2月24日 至 平成32年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団指導第二課長
評議員選任・ 解任委員	ワクイ ヨシオ 和久井 義 夫	平成29年2月24日	自 平成29年2月24日 至 平成32年度 定時評議員会終結時	社会福祉法人青梅市社会 福祉事業団第三者委員

別表第1-3

第三者委員名簿

平成31年3月31日現在

	フリガナ 氏名	就任年月日	任期	職業等
第三者委員	ワカイ ヨシオ 和久井 義夫	平成21年5月27日	自 平成29年4月1日 至 平成31年3月31日	青梅市知的障害者相談員
第三者委員	タキザワ キヨシ 滝澤 淨	平成23年4月1日	自 平成29年4月1日 至 平成31年3月31日	元社会福祉法人 日の出太陽の家施設長

別表第2

職員配置表

平成31年3月31日現在

事務局（本部）	※ 実数 5名			
（事務局 長）	松岡 俊夫	（常務理事兼務）		
（係 長）	伊藤 栄治			
（主 事）	長谷川 晋	本木 明美		
（臨時事務員）	磯海みゆき			
指導第一課	※ 実数 12名			
（課 長）	藤野奈穂美	（就労支援事業所および特定・障害児相談支援事業所管理者兼務）		
（課長補佐）	大栗 重幸	（就労支援事業所副管理者、就労継続サービス管理責任者兼務）		
（係 長）	井上あゆみ	（就労継続サービス管理責任者兼務）		
	櫻木 真人	（就労移行サービス管理責任者兼務）		
	原島 康二			
（嘱託 医）	瀧川 牧人			
（看護 師）	小池 絵美			
（栄養 士）	下笹由紀子			
（交替制調理員）	宮本 洋子	安室 幸代	高久 理恵	鏑木 智子
指導第二課	※ 実数 5名			
（課 長）	高野 敏巳	（生活介護事業所管理者、特定・障害児相談支援事業所副管理者兼務）		
（課長補佐）	西ヶ谷 薫	（生活介護事業所副管理者、生活介護サービス管理責任者兼務）		
（園 長）	吉澤 政好	（児童発達支援管理者兼務）		
（係 長）	大野 孝行	島津 聡子		
就労支援事業所（就労移行支援）	※ 実数 2名			
（管 理 者）	藤野奈穂美	（課長兼務・指導第一課所属）		
（副 管 理 者）	大栗 重幸	（課長補佐兼務・指導第一課所属）		
（サービス管理責任者）	櫻木 真人	（係長兼務・指導第一課所属）		
（就 労 支 援 員）	皆川 香			
（職 業 指 導 員）	浅井 愛	（生活支援員兼務）		
（生 活 支 援 員）	浅井 愛	（職業指導員兼務）		
就労支援事業所（就労継続支援B型）	※ 実数 10名			
（管 理 者）	藤野奈穂美	（課長兼務・指導第一課所属）		
（副 管 理 者）	大栗 重幸	（課長補佐兼務・指導第一課所属）		

(サービス管理責任者)	大栗 重幸 (課長補佐兼務・指導第一課所属)			
(サービス管理責任者)	井上あゆみ (係長兼務・指導第一課所属)			
(主 事)	伊藤 栄治 (係長兼務・事務局所属)			
	本木 明美 (事務局所属)			
(臨時事務員)	磯海みゆき (事務局所属)			
(職業指導員)	井上あゆみ (係長兼務・指導第一課所属)			
	須崎 浩文 茂木 洋明 坂本 文代 土方 宏子			
	庭野美千代			
(生活支援員)	原島 康二 (係長兼務・指導第一課所属)			
	山本そのみ (相談支援専門員兼務)			
	田中 泰行 八木 美和 鮫島留津子			
(栄養士)	下笹由紀子 (指導第一課所属)			
(調理員)	朱通 秀代			
生活介護事業所 (生活介護)		※ 実数 16名		
(管理者)	高野 敏巳 (課長兼務・指導第二課所属)			
(副管理者)	西ヶ谷 薫 (課長補佐兼務・指導第二課所属)			
(サービス管理責任者)	西ヶ谷 薫 (課長兼務・指導第二課所属)			
(主 事)	長谷川 晋 (事務局所属)			
(生活支援員)	大野 孝行 (係長兼務・指導第二課所属)			
	島津 聡子 (係長兼務・指導第二課所属)			
	篠原 初美 (相談支援専門員兼務)			
	小山 克之 (相談支援専門員兼務)			
	川杉ひろみ 原島 秀子 茂木 純子 吉原 愛典			
	榎本恵一郎 佐野 萌 白取 督康 長谷見純一			
	市川由紀枝 峯邑 尚子 横川 良恵 稀代英津子			
(看護師)	小池 絵美 (指導第一課所属)			
(臨時調理員)	遠藤美保子			
(臨時運転手)	高柳 忠昭			
福祉農園		※ 実数 5名		
(作業員)	久保田栄一 志村 英明 久保田義弘 町田 芳信			
	吉田 伸男			
青梅市しろまえ児童学園 (児童発達支援)		※ 実数 0名		
(管理者)	吉澤 政好 (園長兼務・指導第二課所属)			
沢井・小曾木保健福祉センター		※ 実数 4名		
(管理人)	小宮 隆 中村 照之 井野 潔 塩野 正雄			
沢井保健福祉センター		※ 実数 3名		
(清掃員)	宮野千恵子 高橋 利江 市川かつ江			
小曾木保健福祉センター		※ 実数 3名		
(清掃員)	坂井 君子 清水 典子 小高 照恵			
特定・障害児相談支援事業所 (特定相談支援・障害児相談支援)		※ 実数 0名		
(管理者)	藤野奈穂美 (課長兼務・指導第一課所属)			
(副管理者)	高野 敏巳 (課長兼務・指導第二課所属)			
(相談支援専門員)	篠原 初美 (生活支援員兼務・生活介護所属)			
	小山 克之 (生活支援員兼務・生活介護所属)			
	山本そのみ (生活支援員兼務・就労継続支援B型所属)			

II 事業団指導第一課

指導第一課は、障害者総合支援法にもとづく事業所である青梅市自立センター就労支援事業所と、障害者総合支援法および児童福祉法にもとづく事業所である特定・障害児相談支援事業所「じりつ」を所管、利用者を取り巻く様々な環境の的確な把握や、これまで実践してきた支援内容の評価・検証の積み上げを図る等により、障害者総合支援法等の趣旨を踏まえた利用者を主体とした福祉サービスを提供するとともに、利用者や家族等からの相談・苦情等についても適切かつ円滑・円満な対応に努めた。

また、自立センターで提供する給食サービスでは、利用者の嗜好や栄養のバランスおよび安全性に配慮した栄養管理業務を行った。

さらに、自立センターの火災の予防および火災、地震その他の災害等による人命の安全および被害の軽減に向けた訓練を実施した。

1 職員	12名
課長	1名（就労支援事業所および特定・障害児相談支援事業所管理者兼務）
課長補佐	1名（就労支援事業所副管理者、就労継続サービス管理責任者兼務）
係長	1名（就労継続サービス管理責任者兼務） 1名（就労移行サービス管理責任者兼務） 1名
嘱託医	1名
看護師	1名
栄養士	1名
交替制調理員	4名（交替制調理員は、就労移行、就労継続および生活介護に各1名配置）

III 事業団指導第二課

指導第二課は、障害者総合支援法にもとづく事業所である青梅市自立センター生活介護事業所および児童福祉法にもとづく青梅市しろまえ児童学園を所管、利用者を取り巻く様々な環境の的確な把握や、これまで実践してきた支援内容の評価・検証の積み上げなどにより、障害者総合支援法等の趣旨を踏まえた利用者を主体とした福祉サービスの提供に努めるとともに、利用者や家族等からの相談・苦情等について、適切かつ円滑・円満な対応に努めた。

また、利用者の医療については、個々のニーズが多種多様であるため、外部医療機関や嘱託医および看護師との連携を図りながら職員の医学的知識を高め、緊急診療や急性疾患に対する発見・処置を適切に行えるよう保健衛生の推進・充実にあたるとともに、事業所内における医療的ケア（吸引）を実践した。

さらに、運営基本方針の周知徹底や事業所間の連絡調整、職員研修の実施などにより、職員のスキルアップおよび業務の円滑な遂行等に努めた。

1 職員	5名
課長	1名（生活介護事業所管理者、特定・障害児相談支援事業所副管

	理者)
課長補佐	1名 (生活介護事業所副管理者兼務、生活介護サービス管理責任者兼務)
園長	1名 (児童発達支援管理者兼務)
係長	2名

IV 青梅市自立センター

就労支援事業所では、障害者総合支援法にもとづき、原則として18歳以上の一般就労を希望する障害者に対して、定められた期間にわたり職場実習の提供、生産活動その他必要な活動の機会の提供を通じて、一般企業等への就職に必要な知識および能力の向上のための訓練等を行った。また、一般企業に雇用されることが困難な障害者に対し、就労の機会を継続して提供するとともに、生産活動その他必要な活動の機会の提供を通じて、その知識および能力の向上に向け訓練等を行った。

生活支援事業所では、18歳以上で常時何らかの介護が必要な障害者に対し、日常生活支援を中心に社会適応支援・創作活動や生産活動への支援やリハビリ支援の提供を行い日常生活行動の充実を図った。

さらに、障害者と市民が共に学び、交流を図る機会を提供する公開講座の企画・開催により、教養娯楽や生活文化等の向上と障害者福祉に対する理解と啓発に努めた。

1 事業所概要

敷地	9,070㎡
構造	鉄筋コンクリート造2階(一部3階)建
建物・定員	就労支援事業所 1767.78㎡
	就労移行支援 6名
	就労継続支援B型 74名
	生活介護事業所 1524.20㎡
	生活介護 35名

2 利用者の状況(平成31年3月31日現在)

(1) 在籍利用者数

種別	男性	女性	合計
就労移行支援	5名	1名	6名
就労継続支援B型	50名	22名	72名
生活介護	18名	15名	33名
合計	73名	38名	111名

(2) 入退所者

入所者 4名(男性1名・女性3名)

退所者 6名(男性4名・女性2名)

※ 自立センター内の契約変更者を除く。

(3) 手帳所持者数

愛の手帳所持者 男性56名 女性33名 合計89名
 身障手帳所持者 男性32名 女性17名 合計49名
 精神手帳所持者 男性 3名 女性 3名 合計 6名

(4) 全体平均年齢

男性41.6歳 女性39.6歳 全体40.9歳

3 青梅市自立センターの主な行事等

期 日	主 な 行 事	場 所
4月1日	新規職員4名(支援員1名、事務員1名、看護師1名、清掃員1名)	社会福祉事業団
4月1日	新規入所者1名(就労継続1名)	自立センター
4月1日	契約変更者7名(移行から継続3名、継続から移行4名)	〃
	青梅市社会福祉事業団新年度事業開始	〃
	利用者 就労支援事業所 就労移行支援 現員 6名	
	就労継続支援B型 現員 73名	
	生活介護事業所 生活介護 現員 35名	
	合計 114名	
4月2日	新年度事業準備(利用者春季休業)	〃
4月3日	年度始め式(下田理事長講話、新規職員・新規利用者紹介ほか)	〃
4月5日	退所者1名(他施設)	〃
4月9~27日	就労・生活部門個別面談	〃
5月14日	入所者1名(他施設)	自立センター
5月19日	第25回運動会(参加者138名)	誠明学園体育館
5月20日	おうめ健康まつり(自主生産品の展示・即売)	健康センター
6月3日	西多摩療育支援センター祭(自主生産品の展示・即売)	西多摩療育支援C
6月18・19・21日	就労部門保護者参観日	自立センター
6月25・28日	生活部門保護者参観日	〃
6月26・28日	ぶどう笠かけ作業期間(期間中延べ2日間・80名参加)	〃
7月5・6日	就労部門夏季レクリエーション会(ふれあい下水道館見学)	ふれあい下水道館
7月13日	生活部門夏季レクリエーション会(映画鑑賞・買い物)	休ムール日の出
7月19・20日	就労部門ボウリング招待(西東京レーン主催)	西東京レーン
7月21日	あきる野学園夏祭り(自主生産品の展示・即売)	あきる野学園
7月25日	生活部門ボウリング招待(西東京レーン主催)	西東京レーン
8月29日	ぶどう収穫祭(ワイン用ぶどう3,041kgを収穫・82名参加)	自立センター
9月2日	障害者サポートセンター交流祭(自主生産品の展示・即売)	障害者サポートC
9月10~14日	西多摩療育支援センター森の中のでづくり展(自主生産品の展示・即売:14日)	西多摩療育支援C
9月16日	お〜ちゃんフェスタ2018(自主生産品の展示・即売)	青梅市役所駐車場
9月28日	胸部レントゲン撮影実施	自立センター
9月30日	退職者2名(支援員1名・事務員1名)	社会福祉事業団
10月1日	職員異動4名(しろまえ児童学園から自立センターへ異動)	〃
10月13日	花の里祭り(自主生産品の展示・即売)	花の里
10月16日	心電図検査実施(40歳以上・28名実施)	自立センター
10月23日	就労部門ボウリング招待(青梅ライオンズクラブ主催)	西東京レーン
10月26日	生活部門ボウリング招待(青梅ライオンズクラブ主催)	〃
10月28日	第26回ふれあいの集い(参加者350名)	自立センター
10月29日	退所者1名(死去)	〃
11月5~7日	アセスメント利用者1名(就労移行)	〃
11月9日	生活部門バスハイク(江戸東京博物館)	江戸東京博物館
11月11日	かすみフードフェスティバル(自主生産品の展示・即売)	今寺4丁目グラウンド
11月12日	就労部門家族班別懇談会	自立センター
	(みたけ班担当職員と家族による懇談会・給食試食会)	
11月13日	就労部門家族班別懇談会	〃

11月15日	(うぐいす班担当職員と家族による懇談会・給食試食会) 就労部門家族班別懇談会	自立センター
11月17、18日	(たまがわ班担当職員と家族による懇談会・給食試食会) 青梅宿アートFES'18(自主生産品の展示・即売)	青梅宿
11月18日	大門ふるさと祭り(自主生産品の展示・即売)	大門市民センター
11月19日	新規職員1名(調理員)	社会福祉事業団
11月20日	退職者1名(調理員)	〃
11月28日	第三者委員の視察(総合自営消防訓練視察)	自立センター
12月3~7日	障害者施設等作品展示会(自主生産品の展示・即売・即売:4日)	青梅市役所
12月5日	新規職員1名(調理員)	社会福祉事業団
12月6・7日	生活部門冬季レクリエーション会(モリタウン・家具の博物館)	モリタウン他
12月11日	生活部門家族懇談会(A班担当職員と家族による懇談会・給食試食会)	自立センター
12月13日	生活部門家族懇談会(B班担当職員と家族による懇談会・給食試食会)	〃
12月13日	就労部門冬季レクリエーション会(映画鑑賞)	イオンモール日の出
12月14日	就労部門冬季レクリエーション会(ガスマュージアム・買い物)	ガスマュージアム他
12月19日	退所者1名(他施設)	自立センター
12月29日~	冬季休業	〃
1月3日		
1月11日	生活部門新年会(家族会主催)	〃
1月18日	就労部門新年会(家族会主催)	〃
1月31日	退職者1名(支援員)	社会福祉事業団
2月1日	新規職員1名(事務員)	〃
2月7日	退所者1名(他施設)	自立センター
3月4日	入所者1名(他施設)	〃
3月7日	生活部門家族全体懇談会	〃
3月8・15日	就労部門日帰り旅行(いすゞプラザ見学)	いすゞプラザ
3月12日	就労部門家族全体懇談会	自立センター
3月29日	退所者1名(他施設)	〃
3月31日	退職者3名(園長1名・調理員1名・清掃員1名)	社会福祉事業団
3月31日	平成30年度事業終了	自立センター
毎月	幹部会議	〃
毎月	係長会議	〃
毎月	職員会議(各部門)	〃
毎月	厨房給食会議	〃
毎月	健康診断(総合健康診断年2回含む)	〃
毎月	機能訓練『理学療法・作業療法』	〃
毎月	工賃配分(就労)	〃
毎月	班別活動(生活)	〃
毎月	音楽活動(生活)	〃
隔月	自衛消防訓練(自衛消防総合訓練年1回含む)	〃
隔月	利用者放談会(就労)	〃
随時	職員研修	都福祉保健局等
随時	通所支援	各交通機関等
随時	支援会議	自立センター
随時	班別会議	〃
随時	個別支援検討会議	〃
随時	評定会議(就労)	〃
随時	ケース会議(生活)	〃
随時	武州交通興業との合同会議	〃
随時	防災管理委員会	〃
随時	危機管理委員会	〃
随時	虐待防止委員会	〃
随時	ハラスメント防止委員会	〃

随時	職員倫理委員会	自立センター
随時	業務標準化マニュアル検討委員会	〃
随時	送迎業務検討委員会	〃
随時	サービス向上委員会	〃
随時	作業に関する検討委員会	〃
随時	パソコン管理委員会	〃
随時	中期計画検討委員会	〃
随時	研修担当	〃
随時	ボランティア担当	〃
随時	運動会担当者会議	〃
随時	ふれあいの集い担当者会議	〃
随時	機関紙「ふれあい」編集会議	〃
随時	機関紙「自立」編集会議	〃
随時	実習生の受入	〃
随時	現場実習の受入	〃
随時	見学者の受入	〃
随時	各種ボランティア受入作業協力	〃
随時	ボランティア「かけはし」作業協力	〃
随時	機関紙「自立」の発行	〃
年4回	青梅市担当課と幹部との合同会議	〃
年4回	家族会役員と幹部との合同会議	〃
年6回	クラブ活動（就労）	市内体育館等
年4回	課外活動（生活）	公共施設見学等
年5回	ゆとりの時間（生活）	自立センター
年4回	作業褒賞（生活）	〃
年1回	事業団機関誌「ふれあい」第18号発行	社会福祉事業団

4 就労支援事業所

(1) 就労移行支援

ア 定員と職員

定員（実数）	6名（6名）
職員（実数）	6名（2名）
管理者	1名（課長兼務・指導第一課所属）
副管理者	1名（課長補佐兼務・指導第一課所属）
サービス管理責任者	1名（係長兼務・指導第一課所属）
就労支援員	1名
職業指導員	1名（生活支援員兼務）
生活支援員	1名（職業指導員兼務）

イ 障害の程度と年齢（人数）

<愛の手帳>

<身障手帳>

障害の程度	1度	2度	3度	4度	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男性			2	2	4	1	2	1			4
女性				1	1			1			1
計	0	0	2	3	5	1	2	2	0	0	5

＜精神手帳＞

障害の程度	1級	2級	3級	他	計
男性					0
女性					0
計	0	0	0	0	0

年齢	18～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	計
男性		2	1	1			1				5
女性							1				1
計	0	2	1	1	0	0	2	0	0	0	6

平均年齢 男性30.8歳 女性49.5歳 全体33.9歳

(2) 就労継続支援B型

ア 定員と職員

定員(実数)	74名(72名)
職員(実数)	20名(10名)
管理者	1名(課長兼務・指導第一課所属)
副管理者	1名(課長補佐兼務・指導第一課所属)
サービス管理責任者	1名(課長補佐兼務・指導第一課所属)
サービス管理責任者	1名(係長兼務・指導第一課所属)
主事	1名(係長兼務・事務局所属)
	1名(事務局所属)
臨時事務員	1名(事務局所属)
職業指導員	6名(うち1名係長兼務・指導第一課所属)
生活支援員	4名(うち1名係長兼務・指導第一課所属)
	1名(うち1名相談支援専門員兼務)
栄養士	1名(指導第一課所属)
調理員	1名

イ 障害の程度と年齢(人数)

＜愛の手帳＞

＜身障手帳＞

障害の程度	1度	2度	3度	4度	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男性		10	23	2	35	9	6	1	1		17
女性		5	10	3	18	1	4	2	1	1	9
計	0	15	33	5	53	10	10	3	2	1	26

＜精神手帳＞

障害の程度	1級	2級	3級	他	計
男性	1	1	1		3
女性	1	1	1		3
計	2	2	2	0	6

年齢	18～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	計
男性		3	4	5	4	9	6	12	2	5	50
女性			2	5	5	5	3		1	1	22
計		3	6	10	9	14	9	12	3	6	72

平均年齢 男性44.3歳 女性40.3歳 全体43.1歳

5 生活介護事業所

(1) 生活介護

ア 定員と職員

定員 (実数)	35名 (33名)
職員 (実数)	23名 (16名)
管理者	1名 (課長兼務・指導第二課所属)
副管理者	1名 (課長補佐兼務・指導第二課所属)
サービス管理責任者	1名 (課長兼務・指導第二課所属)
主事	1名 (事務局所属)
生活支援員	2名 (うち2名係長兼務・指導第二課所属)
	2名 (うち2名相談支援専門員兼務)
	12名
看護師	1名 (指導第一課所属)
臨時調理員	1名
臨時運転手	1名

イ 障害の程度と年齢 (人数)

<愛の手帳>

<身障手帳>

障害の程度	1度	2度	3度	4度	計	1級	2級	3級	4級	5級	計
男性	1	16			17	7	1	1	1	1	11
女性	3	10	1		14	4	2		1		7
計	4	26	1	0	31	11	3	1	2	1	18

<精神手帳>

障害の程度	1級	2級	3級	他	計
男性					0
女性					0
計	0	0	0	0	0

年齢	18～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～	計
男性		1	5	2	2	4	1	2	1		18
女性		3	1	2	2	4		3			15
計	0	4	6	4	4	8	1	5	1	0	33

平均年齢 男性37.1歳 女性37.9歳 全体37.5歳

ウ 福祉公開講座

講座内容	講師	開催回数	参加延人員	備考
音楽療法	吉野 良子 氏	12回	191名	毎月開催
ビーズアクセサリー	明田川冬子 氏	6回	45名	4・6・8・10・12・2月開催
折紙教室	加藤 和子 氏	6回	37名	5・7・9・11・1・3月開催

エ 事故報告

報告内容	件数	備考
転倒・打撲	5件	
施設設備損壊・什器破損・公用車破損等	7件	
書類・利用者様私物等の紛失	5件	
農薬飛散による車両への付着	1件	損害賠償保険適用
年間合計報告件数	18件	

6 自立センター就労支援事業および作業支援事業

○ 就労支援事業

受託作業

ベアリング等車両部品組立
寝装具類包装・梱包
返礼品の包装・組立
不動産事業者の賃貸物件等清掃・除草
福祉施設清掃業務、自立センター清掃業務受託
青梅市内公園清掃業務受託

自主生産作業

印刷：封筒・名刺等の印刷
木工：各種木工芸品の製作と販売
陶芸：和陶器の製作と販売
農園：ワイン用ぶどうの栽培
リサイクル：牛乳パックリサイクル品販売
青梅市役所喫茶コーナー運営への参画

就労支援

総合体育館受付業務実習（5名）
青梅市役所喫茶コーナー業務実習（1名）

○ 作業支援事業

牛乳パック手すきハガキの製作
ビーズクラフト製品の製作
自動車部品加工
菓子箱の仕切り折り
食品ビニール袋のシール貼り
ペットボトルキャップの回収・整理
ワイン用ぶどうの栽培作業協力

7 自立センター福祉農園事業

- (1) 職 員 作業員5名
- (2) 作業内容 ワイン用ぶどうの管理・栽培
- 8 成木2丁目ぶどう植樹地管理事業
 - (1) 管理場所 青梅市成木2丁目416番地の1
 - (2) 管理内容 葡萄の木の育成管理
 - (3) 管理方法 成木農業者振興会へ委託
 - (4) 管理日数 延べ28日
 - (5) 管理人員 延べ408名

V 青梅市しろまえ児童学園（児童発達支援）

義務教育就学前の障害を有する児童に対して、その発達段階や障害の状況に応じた日常生活における基本的な動作の指導および集団生活への適応訓練を行うことにより、児童1人ひとりの健全育成を図った。

- 1 位 置 東京都青梅市東青梅6丁目1番地の13
- 2 電 話 0428-24-3597
F A X 0428-84-2651
- 3 事業所概要（学童保育所と併設）
 - 敷 地 862.54㎡
 - 建物面積 332.465㎡
 - 延べ床面積 1階 281.000㎡
2階 256.766㎡
計 537.766㎡
 - 構 造 鉄筋コンクリート造2階建
- 4 定員と職員
 - 定 員（実数） 10名（0名）
 - 職 員（実数） 1名（1名）
 - 管理者 1名（園長兼務・指導第二課所属）
 - （嘱託医1名・嘱託歯科医1名）
- 5 児童の障害の程度と年齢（人数）

<愛の手帳>

<身障手帳>

障害の程度	1度	2度	3度	4度	計	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	未取得	計
男子												0	0	0
女子												0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<精神手帳>

障害の程度	1級	2級	3級	他	計
男性					0
女性					0
計	0	0	0	0	0

年齢	1	2	3	4	5	6	計
男子							0
女子							0
計	0	0	0	0	0	0	0

平均年齢 男子 一歳 女子 一歳 全体 一歳

6 青梅市しろまえ児童学園の主な行事等

期 日	主 な 行 事	場 所
4月2日	新年度事業準備 (園児春季休業)	しろまえ
4月3日	進級式	〃
4月13日	個人面談	〃
5月11日	春の遠足 (狭山市立智光山公園こども動物園)	こども動物公園
6月4日	歯科健康診断	しろまえ
6月7日	内科健康診断	〃
6月8日	保育参加日	〃
7月6日	七夕まつり	〃
7月17日～	プール遊び (水遊び・3回実施)	〃
8月2日		
8月31日	園児1名退園	〃
10月1日	しろまえ児童学園休園	〃
3月31日	平成30年度事業終了	〃
随時	職員研修	福祉センター
年6回	心理療法士 (東京小児療育病院講師派遣)	しろまえ
年5回	作業療法士 (東京小児療育病院講師派遣)	〃
年3回	避難訓練	〃
年1回	引き渡し訓練	〃

VI 地域保健福祉センター

1 目的

地域における福祉の拠点として、地域市民の福祉を増進し、生活文化の向上と健康づくりの推進を図ることを目的として施設の管理を行った。

2 職員 管理人4名 (交替制)

沢井保健福祉センター常勤者1名

小曾木保健福祉センター常勤者1名

3 青梅市沢井保健福祉センター (平成6年6月開所)

(1) 青梅市沢井2丁目847番地の3

(2) 電話・FAX 0428-78-7788 (ピンク電話 78-9935)

(3) 定員 集会室30名

(4) 施設の概要

敷 地 904.57㎡

建物面積 319.42㎡

延べ床面積 1階 271.98㎡

2階 268.50㎡

計 540.48m²

構造 鉄筋コンクリート造2階建

(5) 職員 清掃員3名(交替制・常勤者1名)

(6) 利用状況

	高齢者福祉施設 (前年度)	前年度比	入浴施設 (前年度)	前年度比
年間日数	347日 (346日)	0.3%	307日 (298日)	3.0%
男性利用者数	7,190名 (6,892名)	4.3%	6,693名 (6,249名)	7.1%
女性利用者数	3,794名 (4,083名)	▲7.6%	3,610名 (3,956名)	▲9.6%
合計利用者数	10,984名 (10,975名)	0.0%	10,303名 (10,205名)	1.0%

(7) 教養講座

	回数	延べ人数	1回あたり人数
茶道教室	30回	171名	5.7名
華道教室	16回	111名	6.9名

4 青梅市小曾木保健福祉センター (平成7年8月開所)

(1) 青梅市小曾木4丁目2, 176番地の2

(2) 電話・FAX 0428-74-7197 (ピンク電話 74-7194)

(3) 定員 集会室30名

(4) 施設の概要

敷地 2,892.25m²

建物面積 588.27m²

延べ床面積 1階 228.53m²

2階 473.24m²

計 701.77m²

構造 鉄筋コンクリート造2階建

(5) 職員 清掃員3名(交替制・常勤者1名)

(6) 利用状況

	高齢者福祉施設 (前年度)	前年度比	入浴施設 (前年度)	前年度比
年間日数	347日 (346日)	0.3%	307日 (306日)	0.3%
男性利用者数	12,050名 (12,665名)	▲5.1%	10,786名 (11,218名)	▲4.0%
女性利用者数	9,526名 (9,668名)	▲1.5%	9,435名 (9,558名)	▲1.3%
合計利用者数	21,576名 (22,333名)	▲3.5%	20,221名 (20,776名)	▲2.7%

(7) 教養講座

	回数	延べ人数	1回あたり人数
合唱教室	30回	849名	28.3名

(8) 公演会

団体名	日 時	内 容	人数
ゆぎ舞踊会	平成 31 年 1 月 20 日 (日) 午後 2 時～	1 部：股旅寸劇 (一本刀土俵入り) 2 部：昔懐かしい股旅踊り・お座敷芸 マジック・新舞踊・歌ほか	41 名

Ⅶ 特定・障害児相談支援事業所「じりつ」(特定相談支援・障害児相談支援)

特定・障害児相談支援事業所「じりつ」が行う特定相談支援事業および障害児相談支援事業の適正な運営を確保するために人員および管理運営に関する事項を定め、事業所の職員が、障害者、障害児および保護者に対し、適正な特定相談支援および障害児相談支援が行えるよう努めた。

1 対象者

- (1) 18 歳以上の障害者 (知的障害者・身体障害者・精神障害者・難病対象者)
- (2) 18 歳未満の障害児 (知的障害児・身体障害児)

2 職 員 (実数)

5 名 (0 名)

管理者 1 名 (課長兼務・指導第一課所属)

副管理者 1 名 (課長兼務・指導第二課所属)

相談支援専門員 2 名 (生活支援員兼務・生活介護所属)

1 名 (生活支援員兼務・就労継続支援 B 型所属)

3 利用状況

- (1) 計画相談 128 件
- (2) 継続支援 (モニタリング) 89 件
- (3) 対象者別利用状況

ア 18 歳以上の障害者

	計画相談	継続支援(モニタリング)
自立センター	68 件	58 件
上記以外	31 件	19 件
合 計	99 件	77 件

イ 18 歳未満の障害児

	計画相談	継続支援(モニタリング)
しろまえ児童学園	0 件	0 件
上記以外	29 件	12 件
合 計	29 件	12 件